



いのちめぐる、
こころつながる。



おひさまに向かって
植物がのびる
とんがり屋根のアトリエ、
ちいさな丘にトンネル、
たくさんいのちが生きている
池や田んぼ、
秘密基地みたいなテラス。
かけっこも、ごっこ遊びも、
どろんこや水遊びも、
虫や植物しらべも、
落ち葉あつめも……
こどもがやってみたい
「あそび」が、ぜんぶ叶って、
みんなの気持ちがつながる
園庭「めぐらす」ができました。



megurasu
wakuwakubase



幼保連携型認定こども園
社会福祉法人 めぐみこども園

〒918-8047 福井市久喜津町34-1
Tel.0776-36-5057

めぐみ
こども園の
HPはコチラ



めぐらすの
詳細はコチラ



おいや音、手ざわり、
そして、こころで感じる。



今日もおとだちと一緒に、
ちいさな冒険に出発。
いのちの大切さや
自然とふれあう楽しさ、
ほんものにふれる喜びを、
原体験を通して感じてほしい。
見て、聞いて、さわって……
五感で感じて、
からだ全体で味わった体験。
わくわくときどき、
うれしいやたのしいも、
驚きや不思議も、
すべてが大切なからもの。
まだまだ、「はじめて」だらけの
こどもたちが、あたらしい
世界へと飛び込みたくなる。
「めぐらす」は、みんなの、
わくわくが生まれる場所です。



太陽と自然といきものと、ともだちに。

お部屋から一步踏み出して、わくわくドキドキが待つ、自然いっぱいの園庭へ。おともだちと一緒に見て、ふれて、自由に感じて。ただそれだけで十分楽しい。こうした幼いころのわくわくした豊かな原体験が、未来の自分のおおきな根っこになる。身近な植物やいきものの不思議さ、おもしろさ、美しさに出会える最高のあそび場で、自然ともだちになる。

一人ひとりが、ちいさなアーティスト。



季節の花や枝、木の実、葉っぱ、石ころ……あそびや創作につながる自然の素材があふれている「めぐらす」は、ものづくりが大好きな子どもたちにとってパラダイス。さあ、とんがり屋根のアトリエで、身近な自然物を使った世界にひとつのアートづくりに挑戦しよう。



すべてが「あそび」のフィールド。



太陽の下で思いっきりかけまわったり、ポンプで地下水を組み上げて水あそびをしたり、池でいきもの探しをしたり、本や図鑑で調べものをしたり、ものづくりに挑戦してみたり。そう、楽しみ方は自由で、無限大。いろんなあそびが生まれ、共感して、深まって、それらを組み合わせ、わくわくする気持ちが連鎖して、みんなのころが自然とつながっていく。

太陽の下で思いっきりかけまわることたちがいるなかで、木陰で光や風を感じながら静かに絵本を読んだり、おまごあそびで盛り上がったりする子たちもいる。そんな一人ひとりの「好き」「やってみよう」という気持ちを、まるごと包みこんで思い思いの時間が過ごせるみんなの居場所に。

“余白”を残して変化を楽しむ、完成にならない園庭。

当園では、子ども一人ひとりの想いや声を聞きながら、個性を尊重する保育、子どもを真ん中にした主体的なあそびを大切にしています。木育ルームなど、室内環境が充実していく中で、「屋外でももっと、あそびの幅が広がるおもしろい」「五感で感じながら、よりあそびの深まりや探究、挑戦できる環境を」と、保育者同士で何度も対話してはじまった、この園庭プロジェクト。

何といっても主人公は、子どもたち。新しい園庭は、子ども一人ひとりが興味を持って目を向けたこと、「挑戦してみたい」という想い、すべてのあそびが叶う場所でありたい。毎日行っているサークルタイムで、「どんなあそびがあったらおもしろい?」と、モニターなどを使用して振り返り、子どもたちの声を大切にしながら園庭環境を考えていきました。

いざ、あそびしてみると、私たちが想像していなかったあそびの数々に驚かされました。築山をかけ回り、池や田んぼであそびこむ子、アトリエの中で自然物や昆虫、より深く調べたいものを持ち帰って研究する子、子ども心

になってあそぶ保育者の姿……たくさんの笑顔が輝いていました。

植物やいきもの、たくさんのいのちが集まる園庭は、つくって終わりではなく、育てていくもの。あえて未完のまま、いろんなものがいろんな形で移り変わっていく園庭。子どもたちが想像をめぐらし、アイデアを膨らませられる楽しさ、変化にも柔軟に対応できる無限の可能性を秘めています。

また多様な世代が行き交う場として、園庭開放やイベント、図書館利用など多世代に渡りめぐっていく場を創出しています。「めぐらす」というネーミングも、園児・地域の人が募集しました。

今後も、子どもたちの手であそびや想いをめぐらせながら、子どもの姿に合わせて、地域の方みんなであそびながら創っていききたいです。

めぐみこども園
園長 中戸 華恵



〈園庭の監修〉……



子ども主体、保育者主体に加え、「自然環境」も主体として捉える「共主体」の保育をいっしょに考えよう!

ASOBIOプロジェクト監修
玉川大学教授
大豆生田啓友先生



一級建築士
こども環境アドバイザー
井上寿先生

NHKでもおなじみ玉川大学教授大豆生田先生監修のプロジェクト。また、現在一級建築士／こども環境アドバイザー。全国の園庭環境をコーディネートしている井上先生と園庭づくりWSを毎年定期的開催!